



からだ
P

学校生活におけるマスクの着用について



5月23日、政府における「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」が変更されました。

＜マスク着用を必要としない場合＞

- 屋外の運動場に限らず、屋内の体育館を含めた体育の授業
- 熱中症リスクが高い夏場の登下校（熱中症対策を優先させる。）
- ランニングなど離れて行う運動や、密にならない運動遊び（屋外で2m以上を目安として、他者との距離が確保できる場合）

しかしながら、方針変更後も、引き続き、地域の実情に応じた基本的な感染症対策（「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等を徹底していくことが求められています。）

学校でも、場面や状況等に応じ、対策・指導をまいります。ご家庭におかれましても、お子様と一緒にご確認いただけますようご協力をお願いいたします

- ※スクールバス利用の児童は、バスの車内はマスクを着用する。
- ※登校班の集合場所等で話をする場合は、マスクを着用する。
- ※学校に到着したら、すぐにマスクを着用する。
- ※マスクを外す場合は、マスクを入れる袋を用意し、袋に入れて保管する。



からだ
P

「野菜のパワーで元気になるう！」

5月26日（木）、2年生を対象に、小川南中学校 栄養教諭☆☆先生をお迎えし、食育指導が行われました。



榎本教諭：野菜には、「病気から体を守る」「おなかの掃除をする」「虫菌を防ぐ」働きもあるんだね。

児童 A：すごい。食べると、いいことがいっぱいあるんですね。

榎本教諭：では、嫌いな野菜は食べられるようにするためには、どうすればいいかな。作戦を考えてみましょう。

児童 B：好きなものと一緒に食べるようにします。

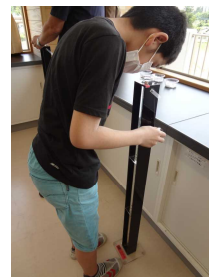
児童 C：鼻をつまんで食べます。

授業後から、給食の残菜がぐっと減りました。今後も、食べることと健康とのつながりについて理解・実践できるよう、日々の食育を充実させてまいります。

まなび
P

「水質を調べて考えよう！」

5月17日（水）・24日（水）、5年生を対象に、霞ヶ浦環境科学センターの方による体験型環境学習を実施しました。



まずは、霞ヶ浦に関する知識から。霞ヶ浦の流域には茨城県の人口の約3分の1の人が住んでいるということ、水深は約4mであることを学びました。

次は、体験。与えられたのは、霞ヶ浦と園部川と1ℓに2滴の醤油を含んだ3種類の水。ミッションは、透視度計やパックテスト等を用いた「水質調査」。子供たちは、見た目・におい・透視度から、「最も汚れているのは霞ヶ浦の水。最もきれいなのは醤油が入った水。」だと考えましたが、水の汚れ具合を表すCODを調べてみると、結果は逆転。最も汚れているのは、1ℓに2滴しか醤油を入れていない水だということが分かりました。「見た目はわからないね。」「水を汚している責任は自分たちにもあるってこと?」「どうしたら汚れた水はきれいになるんだろう。」等、結果をもとに、様々な思いをめぐらせていました。

今回の学びが、自分たちの考えや行動を変えるきっかけになることを期待します。